科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
1501160	教育方法論 Educational Methodology	近藤　茂明	専門	2	選択	2年 後期

科目の概要

本授業では教師の資質能力の育成を目指し、教育方法とその技術に関わる基本的概念・内容を理解させる。その実践的内容については、学習指導案づくりや授業記録の読み取り等の体験学習を通して行う。また、毎授業の進め方は基礎的内容の理解を土台として行い、必要に応じて適宜話し合い活動等を取り込んで、実践的な理解の習得や主体的な態度の育成にもつなげていく。

学修内容	到達目標
① 教育方法とその技術に関する基本的概念・内容を理解する。 ② 基礎的内容の理解を土台として、実践的な内容を通した具体的な学習活動（体験）を行う。 ③ 話し合い活動や文章記述等の言葉による表現活動を通して、自他の考えを深め合う。	① 教育方法論をめぐる基本的な内容や考え方を理解し、今日的課題と結びつけて考察することができる。 ② 教師の力量向上に必要な資質能力について、具体的な学習活動（体験）を通して気づくことができる。 ③ 集団的な学習活動を通して様々な考えを比較し、自分の考えを言葉で整理して表現することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分自身の被教育経験、実生活、様々な関心と結びつけながら、学習活動や自己学習に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分の願いに沿った目標設定を行い、根気よく学習活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけにとらわれることなく、自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学習課題等に対して柔軟で多様な考え方で取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループワークや全体発表において、自分の考えを整理して表現することができる。
	傾聴力	グループワークや全体発表において、他者と自分の考えを比較しながら、より深い考えを導き出すことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自粛して、円滑な学習活動を心がけることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：特に使用しない。必要な資料は授業中に配布する。
参考文献：必要に応じて、授業中に適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連（専門）：教育原理・教職入門（1年）、教育課程・特別活動論（3年）、教育実習（4年）
資格との関連：中学校ならびに高等学校教諭一種免許状(家庭)

学修上の助言	受講生とのルール
・毎授業中のグループワークや全体発表では、積極的な意見交流を心がけるとよい。 ・毎時間の学習内容は、予復習(課題)において関連する情報収集を積極的に行うとよい。	・毎授業で配付する学習資料の予備は前回分しか保管しないので、忘れた際には出席者にコピーをもらう。 ・授業開始時には必ず携帯電話の電源を切るとともに、授業に向かう気持ちの切り替えを行う。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	40	①	レ	・設問内容の趣旨を理解し、授業内容をふまえて自分の見解を論理的に展開し、記述しているかを評価する。 ・以下の4項目の記述ポイントを合格の基準とする。 ・授業内容を基に記述しているか。 ・論点を整理して記述しているか。 ・自らの被教育（学習）経験をふまえて記述しているか。 ・自ら考えた代替案等を具体的に提示しているか。 （4項目＋独創性＝S、4項目＝A、3項目＝B、2項目＝C、1項目以下＝F）
		②		
		③		
小テスト				
レポート	40	①	レ	・毎授業の最後に振り返りとして行う小レポートの点数を平均して判定する。（授業内容を基に、自分の考えをどこまで整理し深めることができたかを判定する）
		②	レ	
		③		
成果発表（口頭・実技）	10	①		・グループワークや全体発表における表現内容・方法の明確さを評価する。 ・話し合い活動を高めていくための意見発表等における貢献度も評定として加える。
		②	レ	
		③	レ	
作品				
社会人基礎力（学修態度）	10	①	レ	（主体性） ・予習時に学習課題を自分自身の経験や関心に引きつけて取り組むことができる。 （実行力） ・復習時に明確な目標設定を行い、根気よく取り組むことができる。 （課題発見力） ・復習時に課題を広げ深め、自分の学習課題を発展させることができる。 （創造力） ・授業中に他者の考えを柔軟に受け入れ、多様な学習活動に取り組むことができる。 （発信力） ・授業中に自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることができる。 （傾聴力） ・授業中に相手の考えのよさを受け入れ、自分の考えを深めることができる。 （規律性） ・授業全体で遅刻や私語を自粛し、円滑な学習活動を進めることができる。 ・毎時間の提出物を期限内に確実に出すことができる。
		②		
		③		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS（秀）及びA（優）の基準	到達レベルB（良）の基準
・筆記試験において、論点を明確に整理して、自分の考えを論理的に記述できている。 ・小レポートにおいて、該当授業の要点を的確にまとめ、焦点を絞って自分の考えを振り返ることができている。 ・話し合い活動や発表において、他者を受け入れながら、多様な考えを表現することができている。 ・授業参加において、全体の学習活動の高めていこうとする積極的な態度をもって授業に貢献することができている。 ・提出物に対する取り組みにおいて、学習を深めようとする姿勢ならびに成果を確実に示している。	・筆記試験において、論点をふまえ、自分の考えを記述できている。 ・小レポートにおいて、該当授業の内容に触れ、自分の考えを振り返ることができている。 ・話し合い活動や発表において、自分の考えを整理して表現することができている。 ・授業参加において、自分自身を自制した態度で、学習活動に取り組むことができている。 ・提出に対する取り組みにおいて、提出期限を守って進めている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。 ・学力や学習のとらえ方を広げながら整理する。	・ガイダンス ・話し合い活動 ・講義	・本授業全体の目的、進め方、留意点を理解することができる。 ・学力や学習に対する自分の考えをもつことができる。	(予習) シラバスに目を通し、本授業全体の概要を理解する。 (復習) 学力・学習の要点を整理する。	90 90	規律性
2週 /	・指導と学習の関連に焦点化した教育方法史の概要を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・授業における指導や学習のあり方について、歴史的視点より関心をもつことができる。	(予習) 近代教育学史の人物を調べる。 (復習) 関心のある人物をさらに調べる。	90 90	実行力 創造力
3週 /	・教室の会話とコミュニケーションについて、授業のあり方と結びつけて理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・教師と子どもの対話(コミュニケーション)の大切さに気づくことができる。	(予習) コミュニケーションについて調べる。 (復習) 授業におけるコミュニケーションのあり方を整理する。	90 90	課題発見力 発信力
4週 /	・学習形態と指導法について、個と集団の学びという視点より整理する。	・講義 ・スライド資料視聴(先進的実践校) ・復習のまとめ発表	・個と集団の学びの不可分な関係性に気づくことができる。	(予習) 個別指導の被教育経験の長所、短所を振り返る。 (復習) 個と集団の学びの関連を整理する。	90 90	実行力 創造力
5週 /	・新任教師の授業づくりや、授業中の教授行動を通した教師の意思決定のあり方を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・新任教師の授業づくりや教授行動の課題を理解することができる。	(予習) これまでに出会った若手教師の姿を振り返る。 (復習) 教師の成長のあり方を整理する。	90 90	課題発見力 発信力
6週 /	・教育評価の基本的な考え方と具体的な内容や進め方を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・評価、指導、学習の関係性を理解することができる。	(予習) 小中学校時の通知表を振り返る。 (復習) 教育評価の目的と課題を整理する。	90 90	主体性 創造力
7週 /	・授業づくりの技①として、発問のあり方を検討する。	・グループ討議 ・講義(総括) ・復習のまとめ発表	・授業時における教師の行う発問の意味に気づくことができる。	(予習) 発問を調べる。 (復習) 素晴らしい発問のあり方を整理する。	90 90	主体性 発信力
8週 /	・授業づくりの技②として、机間指導のあり方を検討する。	・グループ討議 ・講義(総括) ・復習のまとめ発表	・授業時における教師の行う机間指導の意味に気づくことができる。	(予習) 机間指導について調べる。 (復習) 素晴らしい机間指導のあり方を整理する。	90 90	規律性

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・授業づくりの技③として、板書や視聴覚教材のあり方を検討する。	・グループ討議 ・講義(総括) ・復習のまとめ発表	・授業時における教師の行う板書の意味に気づくことができる。	(予習) 板書について調べる。 (復習) 素晴らしい板書のあり方を整理する。	90 90	実行力 創造力
10週 /	・学習づくりの土台としての学習指導案の基本的な構成要素について理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・学習指導案の基本構成要素を理解することができる。	(予習) 学習指導案づくりについて調べる。 (復習) 学習指導案づくりの要点を整理する。	90 90	課題発見力 発信力
11週 /	・学習指導案づくりを通して、授業づくりの対する役割を理解する。	・グループ活動 ・全体発表 ・復習のまとめ発表	・学習指導案と実際の授業との関連に気づくことができる。	(予習) 個人の学習指導案づくりを行う。 (復習) 学習指導案の重要性を整理する	90 90	実行力 創造力
12週 /	・授業記録①の読み取りを通して、教師の授業の進め方に関する具体的な検討を加える。	・グループ討議 ・全体発表 ・復習のまとめ発表	・若手教師の授業づくりに関する問題点に気づくことができる。	(予習) 事前配付の授業記録を読み取る。 (復習) 授業記録を検討する意味を整理する。	90 90	課題発見力 発信力
13週 /	・授業記録②の読み取りを通して、教師の授業の進め方に関する具体的な検討を加える。	・グループ討議 ・全体発表 ・復習のまとめ発表	・授業づくりを高める具体的な進め方に気づくことができる。	(予習) 2つの授業記録を読み比較する。 (復習) 授業記録を通した教師の成長を整理する。	90 90	主体性 創造力
14週 /	・ビデオ視聴を通して、授業研究のあり方に関する具体的な検討を加える。	・ビデオ視聴 ・逐語記録読解 ・復習のまとめ発表	・授業研究をするための多角的な方法に気づくことができる。	(予習) 事前配付の逐語記録を読み、授業の進め方を考える。 (復習) 徳語記録を検討する意味を整理する。	90 90	主体性 発信力
15週 /	・全体総括として、一つの論題(視点)を設定して話し合い、自分の考えを深め整理する。	・全体発表 ・復習のまとめ発表	・本授業を通してたどり着いた指導と学習のあり方を整理して表現することができる。	(予習)本授業全体で関心をもったことに対する考えをまとめる。 (復習)本授業全体の学習内容をノートにまとめる。	90 90	発信力 傾聴力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力